

「食」は、人間が生きていくためのエネルギーの源です。それとともに、食の楽しさを味わうこと、作り手の愛情を感じることで、世界の食料事情を通じて食の豊かさとは何かを考えることなど、人間としての豊かな心をはぐくむ源でもあるのです。

## (1) 飽食の時代

物の豊かさは、「食」を取り巻く環境にも大きな変化をもたらしました。

食生活は多様になり、肉類や油脂類を多く含む食事が増えるとともに、外食や加工食品などを利用する回数も多くなりました。

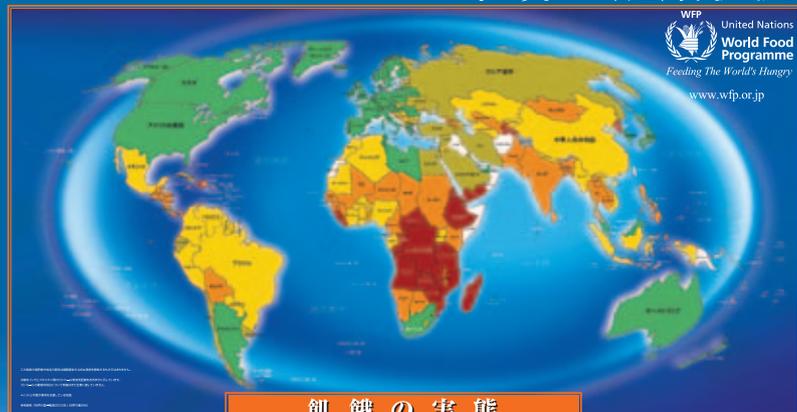
また、自分の好きなものだけの食事や間食を続ける、朝食をとらない、過度のダイエットをするなどの望ましくない食習慣は、深刻な栄養バランスの崩れをもたらしています。

さらに、食料の海外依存の増加など、わたしたちの食生活のあり方は、実に多くの課題を抱えています。

一方、世界では、自然災害、内戦、人口の増加、食料価格の高騰などにより、10億人近くもの人が栄養不足に苦しんでいますと言われています。日本は、世界最大の食料輸入国ですが、このような中で多くの食料を食べ残したり、廃棄したりしているのはとても大きな問題です。

\*用語解説) [食糧] 食べ物。特に主食となる米や麦。

## WORLD HUNGER 世界の飢餓状況



### 飢餓の実態

- 世界には、世界中の人々を養うのに十分な食糧があります。
- 8億5千万以上の人々が空腹のまま眠りにつき、そのほとんどが女性と子どもです。
- およそ1億5千万人の子どもが、慢性的栄養不足のため発育不良の状態にあります。
- 栄養不足は子どもの知能の発達を遅らせ、身体の発育を妨げます。
- 6秒に1人の子どもが、飢えやそれに関係する原因のため亡くなっています。

分類	栄養不足人口の割合	栄養不足度
1	25%以上	非常に高い
2	20~24%	やや高い
3	15~19%	やや低い
4	10~14%	非常に低い
5	2.5%未満	極めて低い
	データなし	
	データ不足	

出典：世界の栄養不足人口の概況2004年版世界食糧年報 (FAO)

WFP 国連世界食糧\*計画作成「ハンガーマップ」  
世界の飢餓状況を、栄養不足人口の割合により国ごとに5段階で色分けして表現したもので、それが「ハンガーマップ」です。

<http://www.wfp.or.jp/kyokai/hunger.html>

## (2) 食の「ちから」

わたしたちは、植物や動物を食材として食べ、その生命を受け継いで、成長し、生きています。また、その食材や食事には、多くの人々のちからも込められています。どんなちからが込められているか考えてみましょう。

食事としてみなさんの口に入るまでには、生産者、加工業者、運送業者、小売業者、調理者などがかかわっています。これら



食に生きる

の人々は、自分が扱う食材や料理に自信と誇りを持っています。そこには、おいしいものをおいしく食べてもらいたいというちから(願い)が込められています。そして、そのちからが食材や料理の品質、安全性を高めることにつながっています。ぜひ作り手への感謝の気持ちを忘れずに、食に込められたちからを感じてください。



作り手の思いを感じる

(写真提供：市川市立第七中学校)